黒船来航

港物語

平成二十九年十月二十四日発行
横浜市立篠原中学校
「港物語」 第一号
二年
是永茉穂 土屋柚孝
野田七海 関口奈々
真岡万絢

ペリーを知っていますか？

皆さんもご存知の通り、横浜港に来航した歴史的有名人物であるペリー。とても有名なペリーですが、世間的には知られていないたくさんの秘密が隠されているのです。

一七九四年に生まれたペリーは、アメリカ海軍の軍人として活躍していました。そのペリーには、兄がいました。兄の名前は、オリバー・ハザード・ペリーです。エリー湖の戦いにおけるアメリカ海軍の英雄でした。江戸時代に戦隊を率いて、鎖国をしていた日本へ来航したペリーは、開国への要求をしたことで知られています。当時の文章には「ペルリ」漢字では「彼理」と書かれていました。

水兵や海兵隊員などから、ペリーのいばった態度、あいさつ、合図の声が熊のようにきこえることから「黒おやじ」とかくれて呼ばれていたそうです。そして、一八五三年、横浜港に四隻もの黒船を連れ、浦賀に来航しました。二回目の来航は、一八五四年、七隻の軍艦を率いて、やってきました。そして、幕の上で日米和親条約が結ばれました。横浜開港のことから、有名になったペリーは色んな秘密があることが分かりました。

姉妹港の歴史

横浜は、どのような地域が姉妹都市なのでしょうか。姉妹友好都市がどこなのか、知らない人も多くいるはずです。横浜は、八つの姉妹・友好都市と七つのパートナー都市をもっています。企業誘致スポーツや文化・技術などを通して、総合的な交流を行っています。

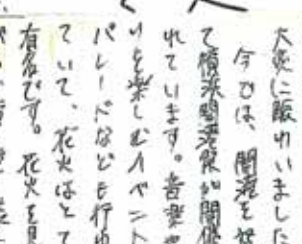
港といえば…

横浜といったら、その次は船や海と答え、「港」というイメージがあると思います。そこで「横浜港といえば…」というアンケートを実施してみました。

貿易と答えた人が一番多かったものの、あまり港で何をやっているか分からないという有数の貿易港です。

私達は横浜市民です。もっと港について、きまとめてみると貿易興味を持ち、考えるきっかけを増やしていこうと思います。横浜港とはと聞かれたらすぐに答えられる横浜市民でいたいです。

国際交流活動



この国際交流活動は、私たちにもできることもあります。積極的に参加してみてはいかがでしょうか。

赤い靴

横浜に行くと一度は見かける赤いくつと書かれたバスや看板。そんな赤いくつには悲しいお母さんと女の子の話があり、赤いくつの歌が存在しています。山下公園に遊びにきた時は、行ってみませんか。

横浜開港の秘密

ペリーが来航したのをきっかけに開国した横浜港ですが、かつての横浜港はどんな様子だったのでしょうか…

皆さんも一度は行ったことがある、象の鼻パーク。なんともこの近辺がかつての横浜港だったのです。開港すると同様の条約を締結した、五ヶ国との交流も始まり、横浜は貿易港としての町発展の様相を呈していきました。そして、内外を問わず色々な目的を持った人々が訪れるようになり大変に賑わいました。

今では、開港を祝って横浜開港祭が開催されています。音楽や踊りを楽しむイベントやパレードなども行われていて、花火はとても有名です。花火を見ながら、昔の港の様子を思い浮かべてみるのも横浜らしいと思います。

横濱古今物語

～横濱の歴史を追う～

横浜港の魅力は国際流通センターとして機能しているところ、外国との交流が盛んなところ、他には…？

横浜港はペリー来航や外国との貿易港としてよく知られています。外国の方にも人気で多くの人に親しまれています。そんな横浜港は昔はどのような姿だったのでしょうか。

ペリーが開港を求めにくる前の横浜港は新田開発などが多く行われていました。その中でも一番大きく広いものが「吉田新田」でした。開発当時の横浜港は水深があり、大型の外国船が入港するには申し分、ありませんでしたが、一帯は開発のしやすい新田地帯でした。後に市街地として急速な発展をとげる要素が満たされていたため、開発されるとアメリカと同様の条件を結んだ国との交流を深めることになりました。

そして現在は国際来港ターミナルとして機能している他、横浜港交通センターとしても機能しています。昔から変わらずに外国との交流も盛んです。今ではたくさんの観光客も訪れて、横浜港ならではの楽しみ方をしている人々も多くいます。横浜港はこれからもどんどん発展していくと考えられます。けれども外国の方の中には、横浜を知らない人も多くいるようなので、横浜港の魅力をもっと発信して広く知ってもらうことが大切だと思います。海外からの観光客もきっと気に入るような場所だと思います。皆さんも、訪れてみては、いかがでしょうか。

愛される市歌

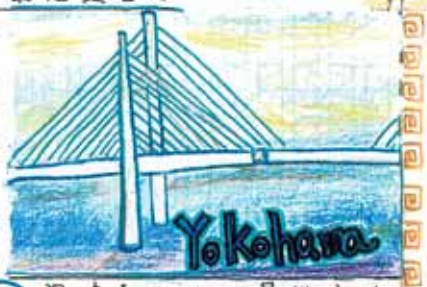
「わが日の本は島国よ…」このフレーズ、皆さんはなんだかわかりますよね？で、横浜市民なら知らず、市歌があるのしたのはあの蟲鳴外でもう横浜市歌です。日本にはたくさんの市歌があります。しかし市歌がある人はいないでしょう。歌詞も素敵で作詞歌を私は誇りに思います。口ずさんでしまうフレーズです。

横浜市歌はとても有名な横浜市歌。実は、他の県に住んでいる人たちはこんなにかっこいい横浜市歌を知らない人も多いのです。「ってるので、市民に愛され続けている市歌。

暮らしを支える輸出入

横浜の港といえば、海外からの豪華客船の寄航や、貿易というイメージだと思います。また、横浜港は日本有数の貿易港ですから、頻繁に輸出入が行われており、世界との架け橋になっています。日々、主に輸出入されている品目は何でしょう。横浜港から自動車、金属製品、電気機器などが世界各国へ輸出されています。一九八五年と現在の輸出額を比較してみると、自動車や車両用エンジンなどが大きく増加し、電算機類が大幅に減少しました。主に輸入されている品目は、私たちの生活雑貨などが多く輸入されています。身の回りをみてみると、今私たちが着ている衣服なども外国産が多いことに、気がつきます。

このように、私たちの生活を支えてくれる貿易に、さらなる発展を期待しましょう。輸出入にはまだまだ可能性があります。私は貿易は国と国、人と人をつないでいる架け橋だと思います。なので皆さんも貿易に少し目を向けてみてはどうでしょうか。きっと新しい視点が見えるハズです。



～うまい～

横浜名物といえばタンやアイスクリーム。やはり崎陽軒のシウマイです。横浜名物、物と知っていましたといえば1番にシウマイを思い浮かべる人も多いはずですが、その他にもサンマーメン、中華街の肉まん、けんちん汁など看板名物の美味しい食べ物がたくさんあります。ナポリタンが落ちますよ。

私たちは、横浜市歌にも歌われている横浜港について調べました。その魅力が伝わればいいなと思います。